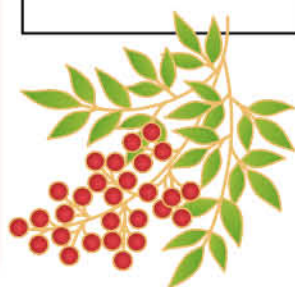


やっちく瓦版

鹿児島県志布志市松山町
発行 大隅の國
やっちく松山藩
やっちく瓦版所
TEL 099 (487) 2111
第19号 平成28年1月



全国から集結!!

志布志市地域おこし協力隊

いざ出陣!!



志布志市役所

松山支所 地域振興課

森 麻衣子



「松山に来て良かった」

秋の陣まつりでした。昨春、神奈川県から志布志市に引っ越してきました。地域おこし協力隊として市役所松山支所に配属となって以降、月に一回の企画会議から参加させていただきました。真剣に意見を交わしたり、仕事の後や休日に作業をしたり、藩士たちの姿はとて格好良く映りました。また、まかない等準備をする女性の藩士たちもきびきびと動いていらっしや、自分を省みたりもしました。青空の下、そびえ立つ幻の一夜城を目の前にしたときは本当に感動しました。

本祭では、祭りの名物である総勢100名の武者行列に地域おこし協力隊全員が鎧や着物を着て歩き、その後の奉納儀式では、歓迎と激励のお言葉

鉄砲・大砲の祝砲をいただきました。私たち協力隊を大切に引き上げてくださり、とても嬉しく感謝無量でした。祭りの広報担当・こふれ隊の一員としてステージにも立ちました。農業やかごしま弁をテーマにしたショートコントとダンスを組み合わせた内容でした。メンバーが集まって練習したり、本番で燃え尽きたり、とてもいい思い出ができました。

秋の陣まつりは、志布志市、松山町にとって堂々たる地域資源だと思えました。皆さんがこの祭りを愛し、一から手作りしていることが切に伝わりました。一夜城や武者行列を始め、無料の大盤振る舞い、今一度お客さんとして味わいたいくらい他にはない魅力が満載の祭りだと感じます。その祭りに向け、熱心な話し合いや手作業が行われていることも含め、どんどんPRしたいと思えました。今回は過去最高の来場者数だったとのことですが、次の祭りのさらなる発展に向け、皆さんと協力して趣向を凝らし実践していきたいと感じました。志布志に来た直後からやっちく松山藩の藩士として温かく迎えていただき、大変心強かったです。感謝しております。焼き立てのやっちく団子の味は忘れられません。今後ともよろしくお願いいたします。



新春によせて

志布志市副市長

外山 文弘



皆様、明けましておめでとうございます。気持ちも新たに輝かしい新年をお迎えのこととお

慶び申し上げます。

さて、県内あちらこちらで誕生したミニ独立国やパロディ王国がいつの間にか消滅していった中で、いまだにしぶとく(笑)生き続ける我が「やっちく松山藩」の元気なこと。いつも総会から準備、上棟式、前夜祭・本祭と地域あげの盛り上がりには、感服するでござる!これは、スタートからの歴代の藩主はじめ地域の皆さんの熱い思いの結果だと敬意を表します。

この「やっちく秋の陣まつり」で私が感じるのは、いい大人たちが子どもの頃に憧れたテレビのヒーローの「忍者」や「武将」に今だからちょっぴり(たっぷりか?)遊び心の余裕を持って取り組むから楽しく続けられるのかなと。

また、次の世代の子どもたちへも参加を通して確実に伝え続けているという印象です。懐かしい昭和の薫りのする、手づくり感のある「やっちく秋の陣まつり」を今年も一緒に楽しみながら盛り上げて、来場される皆様に満足して帰っていただくような「おもてなし」でお迎えしましょう。松山でしかできない特色あるイベントと期待しています。

「キッズ砦」について



秋の陣まつりに何かインパクトのあるアトラクションを!!そこで、南日本新聞に掲載されたモッズ砦に白羽の矢が。「モッズ砦」とは子どもたちが迷路をくぐり、空間認知を高めることのできる立体の体験型遊具です。これは、鹿児島市の大和木材株式会社が鹿児島県と共同で開発したもので、ご相談したところ、快くお借りすることができました。

たところ、快くお借りすることができました。

組み立ては、若者会メンバー20名程度で組み立て。幅7.5m、奥行き4.5m、高さ一部4.5m 木製の大きな立体迷路のお目見えです。

祭り当日は、晴天もあって子どもの大行列ができるほどの大人気。子どもたちは見えるけど、なかなか進めない迷路に大興奮。保護者は見守りをしながら、声をかけてアドバイス。会場は大盛況のうちに終わることができました。



「商所」志布志市商工会青年部

「商所」とは、志布志市商工会青年部の元気なイケメン集団です(美少女名含む)。年齢も業種も様々ですが、家業である商工業を通して志布志市を盛り上げたい!!という熱い思いを持って様々な活動を行っています。

主な活動は、お釈迦祭りなどの出店。鉄道公園のイルミネーション。パレンタインの頃の婚活パーティーです。やっちく松山藩秋の陣まつりにおいては、通行手形の作成を担当しています。

※実は...この通行手形が凄いの



技能五輪 全国大会 家具部門においてチャンピオンとなり、日本代表として世界大会へ出場した佐藤隆洋氏(佐藤洋氏) 具ふすま店) 監修の元、部員たちの手によって一つ一つ丁寧に形作られ、更に、藩士たちによる焼印や紐付けで仕上げられます。これがやっちく松山藩が誇るこだわりの通行手形なのです!! 今日まで27年間の歴史の中で、通行手形も姿を変えてきましたが、朝早くご来場いただいたお客様へ心を込めて手渡しさせていただくという素晴らしい伝統は、絶やさない引き継いでいきたいと考えています。

